

# 奈良国立文化財研究所要項

## I 研究事業概況

### 公開講演・現地説明会

- 1972年6月10日 第31回開所記念公開講演会  
於本所  
「20年のあゆみ」坪井清足  
「平城宮内裏について」町田章  
「歴史的都市環境の保存再開発」宮沢智士
- 1972年7月8日 藤原宮跡官衙跡発掘調査現地説明会 稲田孝司。
- 1972年7月22日 中山町瓦窯跡発掘調査現地説明会 工楽善通。
- 1972年9月9日 平城ニュータウン瓦窯跡発掘調査現地説明会 黒崎直 松下正司
- 1972年11月11日 第32回公開講演会於調査部  
「飛鳥藤原宮跡の調査」猪熊兼勝。  
「奈良時代の官瓦窯」工楽善通。
- 1972年12月2日 阿弥陀浄土院跡発掘調査現地説明会 岡本東三。

### 外国出張

なし

### 海外学者・研究者招致

オーストリア連邦記念物局長 Hans Foramitti博士、文化協定締結国等からの学者招致にもついで文化庁の招きで滞日。1973年3月5日～3月24日 受入機関である当研究所では、古建築および町並み調査への写真測量の応用についての講演、討論会、現地指導がおこなわれた。

インドネシア国立考古学研究所員 Miss Hendari Sofion, アジア文化センターの招きで来日。1973年2月1日～2月28日 地上写真測量および、航空写真判読の考古学的調査研究への応用について研修した。

### 平城宮跡調査整備委員会

- 総会・発掘調査部会・整備管理部会  
1972年5月12日・13日 於調査部
- 整備管理部会 1972年9月25日 於調査部
- 整備管理部会 1972年12月14日 於調査部

## 普及事業

- 特別史跡平城宮跡資料館・覆屋特別公開  
1972年4月28日～5月7日 見学者 4,498名
- 特別史跡平城宮跡資料館・覆屋特別公開  
1972年10月21日～11月5日 見学者12,701名
- 平城宮跡見学者数

区分	覆屋	資料館	計
1972年度	52,127名	29,639名	81,766名
累計	206,207名	672,252名	273,459名

## 1972年度文部省科学研究費補助金による研究

研究課題	種類	担当者	交付金
無収差原寸撮影装置による文化財基礎資料の作製	一般研究A	長谷川誠	14,000
飛鳥時代墓制の研究	一般研究D	猪熊兼勝	260
日本前期旧石器文化の編年と地域性の研究	"	稲田孝司	260
興福寺諸法会の成立と組織の変遷	奨励研究A	加藤 優	170
古代の曲物製作技術的研究	"	菅原正明	160
古代における瓦生産組織の研究	"	田辺征夫	160
縄文式時代狩猟具の研究	"	西 弘海	160
埴輪よりみた古墳時代土器生産の研究	"	吉田恵二	160
植生復原による史跡の修景に関する研究	"	藤原武二	260

## II 図書および資料 (1972年度末現在)

図書 25,915冊 写真 94,909点

## III 施設 (1972年度)

土地 911,328㎡ (そのうち平城宮跡 906,122㎡)  
建物

建物	春日野	平城	藤原	計
事務所	797	—	—	797
倉庫・収蔵庫	191	3,140	155	3,486
車庫	20	128	—	148
会議室	40	—	—	40
講堂	109	—	—	109
写真室	86	—	—	86
資料館	—	1,943	—	1,943
覆屋・展示棟	—	1,935	—	1,935
その他	200	618	465	1,283
計	1,443	7,764	620	9,827
重要文化財 田来谷家住居				217
合計				10,044

#### IV 予算

人件費 100,482千円 物件費 391,849千円  
計 492,331千円

#### V 研究成果刊行物

奈良国立文化財研究所学報

年度	名 称
昭29	第1冊 仏師運慶の研究
	第2冊 修学院經宮の復原的研究
昭30	第3冊 文化史論叢
昭31	第4冊 奈良時代僧房の研究
昭32	第5冊 飛鳥寺発掘調査報告
昭33	第6冊 中世庭園文化史
	第7冊 興福寺食堂発掘調査報告
昭34	第8冊 文化史論叢
	第9冊 川原寺発掘調査報告
昭35	第10冊 平城宮跡・伝飛鳥板蓋宮跡発掘調査報告
昭36	第11冊 院家建築の研究
昭37	第12冊 巧匠安阿弥陀仏快慶
	第13冊 寝殿造系庭園の立地的考察
	第14冊 「レース」と「金龜舍利塔」に関する研究
	第15冊 平城宮発掘調査報告II 官衙地域の調査
昭38	第16冊 平城宮発掘調査報告III 内裏地域の調査
昭40	第17冊 平城宮発掘調査報告IV 官衙地域の調査2
	第18冊 小堀遠州の作事
昭42	第19冊 藤原氏の氏寺とその院家
昭44	第20冊 名物製の成立
昭46	第21冊 研究論集I

奈良国立文化財研究所史料

年度	名 称
昭29	第1冊 南無阿弥陀仏作善集 (複製)
昭30	第2冊 西大寺観尊伝記集成
昭38	第3冊 仁和寺史料 寺誌編 1
昭39	第4冊 俊乘坊重源史料集成
昭41	第5冊 平城宮木簡 1
昭42	第6冊 仁和寺史料 寺誌編 2
昭44	第5冊 平城宮木簡 1 解説 (別冊)
昭45	第7冊 唐招提寺史料 1

(学報・史料の担当者は『年報1972』を参照)

#### VI 人事異動

(1972年4月1日～1973年3月31日)

- 4月1日 京都国立博物館長に転任 松下隆章。  
所長に就任 内山正。考古第二調査室  
長に昇任 佐原真。飛鳥藤原宮跡調査  
室長に併任 八賀晋。考古第一調査室  
主査に任命 町田章。考古第三調査室  
主査に任命 工楽善通。飛鳥藤原宮跡  
調査室に配置換え 西村康・天田起雄。  
文部技官採用 金子裕之(文化庁文化  
財保護部記念物課に併任)。研究補佐員  
採用 上野邦一・今泉隆雄・小野昭・  
岩本圭輔。
- 4月30日 辞職, 中坊ひろ美。

- 5月1日 庶務課課長補佐に昇任 広瀬二朗。庶  
務課専門職員に昇任, 同平城宮跡整備  
管理係長に併任 栢本安臣。庶務課経  
理係長に配置換え 坂口義尙。庶務課  
用度係長に昇任 日高参夫。事務補佐  
員採用 中川友子, 松石清子。飛鳥藤  
原宮跡調査室長に配置換え 八賀晋。  
文部技官に配置換え 上野邦一・今泉  
隆雄・小野昭・岩本圭輔。
- 8月1日 研究補佐員採用, 徳松正広。
- 9月1日 事務補佐員採用, 寺田千鶴子。
- 1月31日 辞職, 福住八重子。
- 2月1日 事務補佐員採用, 大坪伴子。
- 3月23日 文化庁文化財保護部記念物課に併任  
牛川喜幸。
- 3月30日 辞職, 宮本敬一, 徳松正広。
- 3月31日 文化庁文化財保護部記念物課併任解除  
金子裕之。  
辞職, 広島県教育委員会に転任 松下  
正司。辞職, 福井県教育委員会に転任  
藤原武二。

#### VII 組織規定

文部省設置法 抜萃 昭和24年法律第146号  
昭和43年6月15日一部改正

第36条 第43条に規定するもののほか, 文化庁に  
次の機関を置く。  
国立文化財研究所(前後略)

- 第41条 国立文化財研究所は, 文化財に関する調  
査研究, 資料の作成及びその公表を行なう機関  
とする。
- 2 国立文化財研究所の名称及び位置は, 次のと  
おりとする。

名 称	位 置
東京国立文化財研究所	東 京 都
奈良国立文化財研究所	奈 良 市

- 3 国立文化財研究所には, 支所を置くことがで  
きる。
- 4 国立文化財研究所及びその支所の内部組織は  
文部省令で定める。

文部省設置法施行規則 抜萃

昭和28年1月13日文部省令第2号,追加昭和43年6月15日  
文部省令第20号,昭和45年4月17日文部省令第11号

第5章 文化庁の附属機関

第4節 国立文化財研究所

第2款 奈良国立文化財研究所

(所長)

第123条 奈良国立文化財研究所に、所長を置く。

2 所長は所務を掌理する。

(内部組織)

第124条 奈良国立文化財研究所に、庶務課、美術工芸研究室、建造物研究室及び歴史研究室並びに平城宮跡発掘調査部を置く。

(庶務課の事務)

第125条 庶務課においては、次の事務をつかさどる。

- 1 職員の人事に関する事務を処理すること。
- 2 職員の福利厚生に関する事務を処理すること
- 3 公文書類の接受及び公印の管守その他庶務に関すること。
- 4 経費及び収入の予算、決算その他会計に関する事務を処理すること。
- 5 行政財産及び物品の管理に関する事務を処理すること。
- 6 平城宮跡の遺構及び遺物の保全のための警備に関すること。
- 7 庁内の取締りに関すること。
- 8 前各号に掲げるもののほか、他の所掌に属しない事務を処理すること。

(美術工芸研究室等の事務)

第126条 美術工芸研究室においては、絵画、彫刻、工芸品、書跡、その他建造物以外の有形文

化財及び工芸技術に関する調査研究を行ない、並びにその結果の公表を行なう。

2 建造物研究室においては、建造物に関する調査研究を行ない並びにその結果の公表を行なう。

3 歴史研究室においては、考古及び史跡に関する調査研究を行ない、並びにその結果の公表を行なう。

(平城宮跡発掘調査部の7室及び事務)

第127条 平城宮跡発掘調査部に、考古第1調査室、考古第2調査室、考古第3調査室、遺構調査室、計測修景調査室、史料調査室及び飛鳥藤原宮跡調査室を置く。

2 前項の各室(飛鳥藤原宮跡調査室を除く)においては、平城宮跡に関し、次項から第6項までに定める事務を処理するほか、その発掘を行なう。

3 考古第1調査室、考古第2調査室及び考古第3調査室においては、別に定めるところにより分担して、遺物(木簡を除く)の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行なう。

4 遺構調査室においては、遺構の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行なう。

5 計測修景調査室においては、遺構の計測及び修景並びにこれらに関する調査研究並びにこれらの結果の公表を行なう。

6 史料調査室においては、木簡の保存整理及び調査研究、史料の収集及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行なう。

7 飛鳥藤原宮跡調査室においては、飛鳥藤原宮跡の発掘、遺構及び遺物の保存整理及び調査研究並びにこれらの結果の公表を行なう。

職員 (1973年12月20日現在)

所属	氏名	官職	担当
	内山 正	文部事務官 所長	
庶務課	原田 拓	文部事務官 課長	
	寺尾 敏明	文部事務官 課長補佐	
	栢本 安臣	文部事務官 専門職員	平城事務
	八幡 扶桑	文部技官 専門職員(併任)	写真
	岩本 次郎	文部事務官 庶務係長	庶務・図書資料
	井上 政和	文部事務官	庶務
	忠 利二	文部事務官	庶務
	丹阪 信次	文部事務官 警務員長	平城警備
	木寅 忠雄	文部事務官 警務員	平城警備

所属	氏名	官職	担当
庶務課	森田 光治	文部事務官 警務員	平城警備
	岡田 博光	文部事務官 警務員	警備
	宮本 宣代	事務補佐員	所長室付
	港 悦子	事務補佐員	庶務
	吉田みちこ	事務補佐員	庶務
	中川かよ子	事務補佐員	図書資料
	中川 友子	事務補佐員	平城庶務
	石田 信子	事務補佐員	平城図書資料
	石川千恵子	研究補佐員	平城公開
	城本きよの	業務補佐員	平城庁務

所屬	氏名	官職	担当
会 計 課	根本 栄夫	文部事務官 課長	經理事務 飛鳥原事務 經理事務 經理事務 經理事務 經理事務 經理事務 經理事務 經理事務 經理事務 經理事務 經理事務 經理事務 經理事務 經理事務
	広瀬 二朗	文部事務官 課長補佐	
	坂口 義尚	文部事務官 經理係長	
	加藤 建夫	文部事務官 (併任)	
	西田 健三	文部事務官 (併任)	
	山下 久子	事務補佐員	
	細川 純子	事務補佐員	
	大坪 伴子	事務補佐員	
	吉田 和子	事務補佐員	
	前川 重子	事務補佐員	
	日高 参夫	文部事務官 用度係長	
	沖村 重則	文部事務官	
	中西 建夫	文部技官	
	飯田 信男	文部技官	
	松石 清子	事務補佐員	
桑原 和子	事務補佐員		
川辺 美千代	事務補佐員		
美研 工芸 室	栢本 安田	文部事務官 平城宮跡整備管理係長 (併任)	平城整備管理
	渡辺 康史	文部技官	平城整備管理
建研 造究 物室	梶 幸治郎	技能補佐員	平城保安
	長谷川 誠	文部技官 室長	彫刻芸
史室	星山 晋也	文部技官 (併任)	彫工
	守田 公夫	文部技官 (非常勤)	
史室	鈴木 嘉吉	文部技官 室長	建築
	官沢 智士	文部技官 (併任)	建築
史室	細見 啓三	文部技官 (併任)	建築
	牛川 喜幸	文部技官 (併任)	遺跡庭園
史室	伊東 太作	文部技官 (併任)	遺跡庭園
	福田 幸子	文部技官 (併任)	資料整理
史室	福山 敏男	文部技官 (非常勤)	建築
	田中 稔	文部技官 室長	歴史
史室	横田 拓実	文部技官 (併任)	歴史
	鬼頭 清明	文部技官 (併任)	歴史
史室	木下 正史	文部技官 (併任)	考古
	岡本 東三	文部技官 (併任)	考古
史室	吉田 恵二	文部技官 (併任)	考古
	堀池 春峰	文部技官 (非常勤)	歴史
史室	坪井 清足	文部技官 部長	歴史
	町田 章	文部技官 室長	考古
史室	佐藤 興治	文部技官	考古
	黒崎 直	文部技官	考古
史室	沢田 正昭	文部技官	保存科学
	金子 裕之	文部技官	考古
史室	山本 忠尚	文部技官	考古
	八幡 扶桑	文部技官 専門職員	写真
史室	佃 幹雄	文部技官 専門職員	写真
	藤村 礼子	技術補佐員	写真
史室	毛利 光用	研究補佐員	資料整理
	工藤 善通	文部技官 室長	考古
史室	高島 忠平	文部技官	考古
	吉田 恵二	文部技官	考古
史室	西田 剛道	文部技官	考古
	千田 剛道	文部技官	考古
史室	坪井 清足	文部技官 室長 (取扱)	考古

所屬	氏名	官職	担当	
考古第三調査室	森 郁夫	文部技官 主査	考古	
	岡本 東圭	文部技官	考古	
	岩大 圭輔	文部技官	考古	
	松沢 潔生	文部技官	考古	
	平城宮跡発掘調査室	岡田 英男	文部技官 室長	建築
		細見 本長	文部技官	建築
	平城宮跡発掘調査室	藤村 泉	文部技官	建築
		上野 邦治	文部技官	建築
	平城宮跡発掘調査室	金井 雅之	文部技官	建築
		中井 雅之	文部技官	建築
	平城宮跡発掘調査室	牛川 喜幸	文部技官 室長	遺跡庭園
		伊東 喜太	文部技官	遺跡庭園
	平城宮跡発掘調査室	高瀬 要一	文部技官	遺跡庭園
		高瀬 要一	文部技官 (非常勤)	遺跡庭園
	平城宮跡発掘調査室	狩野 久美	文部技官 室長	歴史
横田 拓実		文部技官	歴史	
平城宮跡発掘調査室	今泉 隆雄	文部技官	歴史	
	綾村 隆雄	文部技官	歴史	
平城宮跡発掘調査室	横山 浩一	文部技官 部長	考古	
	八賀 晋司	文部技官 室長	考古	
平城宮跡発掘調査室	西村 康彦	文部技官	考古	
	甲斐 忠彦	文部技官	考古	
平城宮跡発掘調査室	天田 征夫	文部技官	考古	
	山中 敏史	文部技官	考古	
平城宮跡発掘調査室	西田 健三	文部事務官	飛鳥原事務	
	刀谷 敏博	文部技官 (併任)	自動車運転	
平城宮跡発掘調査室	寺田 千鶴子	事務補佐員	飛鳥原事務	
	石丸 洋保	研究補佐員	考古	
平城宮跡発掘調査室	横山 浩一	文部技官 室長 (取扱)	考古	
	熊頭 清明	文部技官 主査	考古	
平城宮跡発掘調査室	小笠原 好彦	文部技官	歴史	
	木下 正史	文部技官	考古	
平城宮跡発掘調査室	菅原 正明	文部技官	考古	
	西兼 弘海	文部技官	考古	
平城宮跡発掘調査室	宮沢 智士	文部技官 主任研究官	建築	
	内山 正	文部事務官 館長 (取扱)	建築	
平城宮跡発掘調査室	前田 和夫	文部事務官 室長	庶務	
	大西 敏博	文部事務官	自動車運転	
平城宮跡発掘調査室	稲垣 耕正	技能補佐員	自動車運転	
	佐原 真	文部技官 室長	考古	
平城宮跡発掘調査室	星野 晋也	文部技官	美術	
	津村 広志	文部事務官	歴史	
平城宮跡発掘調査室	藤沢 一夫	文部技官 (非常勤)	普及	

# ANNUAL BULLETIN

## OF

### NARA NATIONAL CULTURAL PROPERTIES RESEARCH INSTITUTE

1973  
CONTENTS

TEXT	Page
Preface .....	1
1. Measurements and Reconstructions on the Chart of the Principal Buddhist Image of the Asukadera Temple and the Head of Buddhist Image of the Yamadadera Temple.....	2
2. Researches on the Sculptures and Pictures.....	7
3. A Survey of <i>Minka</i> (Domestic House in the Edo Period) in Kagoshima Pref....	8
4. Arrangement of the Nara Palace Site (3) .....	10
5. Architectural Surveys of the Old Building and Sites; Arrangements and Measurements of the Historical Sites.....	12
6. A Supplementary Study of the Fragmentary Documents: <i>Kohon-Ryō-Shiki</i> (Annotation of Statues) Kept in the Tōshōdaiji Temple .....	14
7. Researches on the Old Books and Manuscripts.....	17
8. A Synthetic Study of the <i>Nanto-Shoji-Engi</i> (Histories of the Temples in Nara) .....	17
9. Surveys of the Nara Palace Site and Its Surroundings .....	18
10. Wooden Writing Tablets Excavated at the Nara Palace Site in 1972 .....	36
11. Surveys of the Asuka and Fujiwara Palace Sites .....	38
12. Survey of the Platform of Pagoda, Hōrinji Temple.....	48
13. Survey of the Site of Lecture Hall, Kōfukuji Temple.....	50
14. <i>Sueki</i> (Grey Pottery) Found in a Kiln in Ikoma City.....	51
15. Investigation on the Technique of <i>Magemono</i> (Vessel Shaped by Bending a Thin Sheet of Cypress Wood into a Circular Form) Manufacture.....	52
16. Other Surveys .....	53
17. Scientific Methods for Conservation of the Sites and Relics (3).....	54
18. Summaries of the Open Lectures .....	57
19. Organization and Activities of the Institute .....	58
PLATES	
1. Stone-Built Drain, Kaminoide Site	
2. Remains of a Building, Fujiwara Palace Site, Excavated in the 5th Survey	
3. Stone-Built Ditch, Assumed Asuka Kiyomigahara Palace Site	
4. Remains of a Storeyed Building, Nara Palace Site, Excavated in the 77th Survey	
5. Remains of a Gate and a Storeyed Building, Nara Palace Site, Excavated in the 77th Survey	
6. General View of the Utahime-Nishi Roof-Tile Kiln	
7. General View of the Nakayama Roof-Tile Kiln	
8. Wooden Writing Tablets Excavated at the Nara Palace Site	
9. Fragmentary Documents A and D of the <i>Kohon-Ryō-Shiki</i> , Kept in the Tōshōdaiji Temple	
10. Foundation for the Central Pillar of Pagoda, Hōrinji Temple	

Published by  
Nara National Cultural Properties Research Institute  
Nara, 1974